



市史の資料調査を進めています

市史編さん Vol.4

その1 戦争の記憶、戦中戦後のくらしに関する資料・情報を探しています

2025 年は、昭和 100 年・戦後 80 年を迎えます。

戦争を直接体験した世代は高齢化し、その記憶や資料も失われつつあります。

戦争の惨禍は、忘れたい過去ではありますが、決して忘れてはならない貴重な教訓として平和の尊さを語り継ぐ必要があります。

市では、戦争の記憶を未来に継承すべく、以下の資料・情報を探しています。

- ・戦中や戦後復興期に撮影された写真や映像
- ・戦中戦後における戦争関連の資料
(戦地から家族に宛てた手紙や戦争体験記など)
- ・戦争にまつわる体験談をお話しくださる方

お寄せいただいた資料・情報により、閲覧・借用・聞き取り等をお願いし、市史の資料として記録・保存するとともに、歴史資料館での展示等によりご紹介し、子どもたちの平和学習や地域の歴史を知る機会の提供につなげていく予定です。

その2 写真・資料の収集、整理 …市民の皆さまから提供された写真の一部を紹介します。

過去と未来をつなぐ 映像タイムマシーン ～戦争の記憶～



●「出征見送りの写真」昭和 12 年 8 月 30 日

1937 (昭和 12) 年 7 月に日中戦争が始まり、多くの男性が軍隊に集められました。

2 人の兵士の出征に際し、のぼり旗を掲げ、多くの人々が見送りのために参集している様子です。

家族や親族だけでなく、地域をあげての盛大な見送りであったことがわかります。場所は三間坂駅前と思われます。

(提供：山内町 井原 昭子さん)



●「戦時物語」昭和 52 年

終戦から三十三回忌の追悼式を迎えるにあたり、太平洋戦争中のビルマでの戦闘に従軍した井手 貞一さん (明治 31 年杵島郡住吉村生まれ) が、ご自身の体験を挿し絵とともにつづった手記。

前書きには「将来再び戦争歴史を繰り返されるような間違いが無いように…」との思いが記されています。

(提供：山内町出身 井手 勲さん)

市史編さんにご協力ください

ご自宅にある古いアルバム、古い書籍などが、貴重な資料になる可能性があります。

皆さまからの情報提供をお待ちしています。

お問合せ

文化課 市史編さん室 電話 0954-23-9181 E-mail: bunka@city.takeo.lg.jp